

【令和6年度（2024年度）審判員の目標】

令和6（2024）年4月1日
（公財）日本ハンドボール協会 競技・審判本部
指導普及本部

1 『審判員としての人間性』（笛は人格を現す）

- ・ 審判員の心得 10箇条（補助資料①）

- | | |
|-------------------|------------|
| ① リーダーシップ | ⑥ 身体上の適正 |
| ② 誠実さ | ⑦ ユーモアのセンス |
| ③ ルールに関する知識（競技規則） | ⑧ 勇気 |
| ④ 冷静さ | ⑨ 協調性 |
| ⑤ 正しい判断 | ⑩ 仲間意識 |

2 『モダンハンドボールの理解と展開』（補助資料②）

- ・ モダンハンドボールとは…
スピーディーなゲーム展開を引き出し、ゲームの流れを止めない
必要以上に時間を止めない
- ・ ゴールエリアライン際のプレーは、ゴールレフェリーが判定する

3 『安心・安全なゲーム運営』（補助資料③）

- ・ 競技規則第8条の理解
- ・ 安心、安全のためのゲームマネジメントを心掛けなければならない
- ・ ウイングシュートに対するDF “Long Step”と“Foot on Foot”

< 研究課題 >

- ◆ 試合開始15分間で「カテゴリーに対応した適切な基準」を示し、その基準を「試合展開に関係なく」、「試合終了まで維持」する
 - ・ ボディーランゲージの示し方（「大きく」かつ「意味が全体に理解される」ように示す。プレーヤー個人に注意を入れる際も、「口頭のみでなく」ボディーランゲージを用いる）
 - ・ 具体的には罰則、ステップ、パッシブプレー、スポーツマンシップに反する行為、各種スローの実施など
 - ・ バランスを意識したゲーム運営（特に近い時間帯）
- ◆ 新競技規則の理解と正しい運用（補助資料④）
- ◆ 通信機器の有効活用（補助資料⑤）
- ◆ 最新の傾向（補助資料⑥）